

丸で狐に御馳走してやる爲めに、二人で散々争うて、骨折つたやうなもんじやないか」といひました。よく、一人の人が骨折つたものを、丸で、他の人に取りられて仕舞ふことがあるものです。

狐と農夫

いつもいつも、狐がやつて来ては飼つてる鶏を捕つて行くので、或時のこと、とうとう係蹄を付けて、其狐を生擒りました。そこで、餘り悪いから、存分ひどい目に遇せてやらうといふので、其尻尾に、糞を一束結び付け、夫に油をかけて、火を燃やしました。すると、狐は死者狂ひになつて駆け廻はつて、やがて、其農夫の裏の畑に飛び込みました、丁度其時は、麥の時分でしたから、堪りません、畑中一面火になつて仕舞つて、可愛相に、其年は、丸で、麥を取ることが出来ませんでしたと

さ。

盗賊と鶏

或晩、二三人の盗賊が他の家へ這入りましたが、何も取るものがなくつて、たつた牡鶏一羽を盗んで行きました。さて、棲家へ歸つてから、夫を殺さうとしますと、其牡鶏が申しますには「どうか、命丈は助けて下さい、私は、大層人間様の爲めになる鳥です、即ち、夜分、仕事をさせる爲に人間の目を覺させるので」とすると、盗人等は「夫だから尙更殺すのだ、なぜかといふと、お前が鳴いて家の人の目を覺させるといふと、全く己らの仕事が出来ないもの」といひました、善人の味方は屹度悪人に憎まれます。

考(物)

三河西加茂筋生村 近藤登喜子

- 一 尻しりを踏ふひたび毎ごとに頭あたまを上げあげるもの 物品
- 二 一人ひとりりとで持もてばよいが二人ふたりでは重おもくなり持もちにくく、三人さんにんでは尙なほ持もちにくいものは(但たゞシ重おもクテ目め方かた増まスニ非あラズ)
- 三 或あるる者ものの先さきに立たたんとして先さき立たつ事ことがで來きがたく其そのれで其そのの者ものに遅おそれ様ようとして遅おそれる事ことが出來きませんこれ何なんんでしよう

英語と獨乙語

英	獨
お母 <small>おはは</small> さん	Mother
お父 <small>おとう</small> さん	Father
姉 <small>あね</small> 妹 <small>いもうと</small>	Sister
兄弟 <small>あに</small>	Brother
	Mutter
	Vater
	Schwester
	Bruder

息こゝろ子こ 娘むすめ 人ひと 家いへ 本ほん 紙かみ 水みづ

Son	息子
Daughter	娘
Man	人
House	家
Book	本
Paper	紙
Water	水
Sohn	息子
Tochter	娘
Mann	人
Haus	家
Buch	本
Papier	紙
Wasser	水

私わたしは本ほんを持もつて居ゐる
 Ich habe ein buch (獨)
 I have a book (英)